



Simplex Institute

# マイクロ先物 商品説明と基本戦略

2025年 1月

# 何事も

$$\text{実力} = \text{知識} \times \text{経験} = \text{理論} \times \text{実践}$$

- (1) いくら知識があっても、経験を蓄積していかなければ実力は「ゼロ」である  
→ 「わかっていること」と「できること」は同じではない！
- (2) 経験は「時間の長さ」ではなく「体験の量と質」で決まる  
→ 体験しなければ学べないこともある  
= 頭で考え動いているうちは、まだ本物とは言えない！
- (3) 「負け方」も学んでおく必要がある  
→ 「逃げ方」と「胆力」を身に着けることは無駄ではない

しかし、経験を積むのに大金を払う必要はない

# 経験智のための「マイクロ先物取引」

(1) 相場の動きを追い、流れを感じるための売買

→ 「相場を見ている」だけでは動きは読めない！

市場に参加しないで「相場を読んだ」ところで、所詮は「岡目八目」  
本当に「感じる」何かを掴むためにはポジションを取るのが一番

(2) 日々の動きを「マイクロ先物取引」で体感

→ 相場変動の理由をチェックしていくことで「知識」が身に着く  
知識が蓄積することで、相場の動きの予測の精度が向上する

(3) アウトライト取引だけではなく、ヘッジ取引などへの応用

→ リスク管理の技術が身に着くことで、「神頼み」が減る  
多様な投資戦略が可能になる

# 「マイクロ先物取引」とはどのようなものか？

- (1) 売買代金は 1枚(最低単位)当たり 40万円弱(2025年1月10日現在)  
→ 「ミニ先物」の 1/10, 「ラージ先物」の 1/100 のサイズ
- (2) 必要な資金(証拠金)は 1枚当たり 22,000円程度(2025年1月10日現在)  
→ 「資金効率」の良さは抜群
- (3) 相場が上昇すると判断したら「買い」、下落すると判断するなら「売り」  
→ 上昇相場でも下落相場でも対処(利益の追求)可能
- (4) 夜間(17時～翌6時)にも売買可能  
→ 自分のライフ・スタイルに合わせて相場に参加(寝不足に注意！)

# マイクロ先物取引のポイント

- (1) 売買代金(40万円程度)や証拠金(22,000円程度)が小さいからといって手持ち資金目一杯まで使うと「追証」がかかった時点でアウト  
→ 「必要証拠金」の4~5倍程度の現金は残しておくこと
- (2) 出口(ポジションを手仕舞うポイント)は、利益・損失のどちらの場合も  
**予め**(ポジションを取る前に)決めておくこと  
→ 例えば、「100円動いたらやめる」と**事前に決め**,それを**絶対に守る**
- (3) 3回連続で負けたときは、「自分が何か間違っている」と考え、売買休止  
→ 相場の動きと自分の読みが食い違ってきたら、正しいのは相場!
- (4) 基本は「順張り」でいく(後述)  
→ 「逆張り」は趣味の世界

# 先物の使い道

## (1) 「ヘッジ」の道具としての先物

市場価格変動リスクのヘッジに先物を使う

→ リスク軽減のための先物(先物本来の使い方)

例:相場下落の際の株式ポートフォリオのヘッジ

オプションのデルタ・ヘッジ

## (2) 「アウトライト」の道具としての先物

「相場の流れ」や「市場参加者の動き」に合わせポジションを取り

利益を追求

→ リスクを敢えてとるための先物

# 「アウトライト」が難しい理由(1)

答:大局的には市場参加者の「関心事が時間と共に変化する」から

最大の関心事が,あるときは「米国債券利回り」であったり,また別の  
あるときには「自民党総裁の選挙」であったりする

これらの「市場の関心事」をいち早く察知し流れに乗ることができれば  
投資判断の間違いが減る

しかし,上手く流れに乗れているからと言って,「関心事の変化」を  
見過ごすと大きな損失が待っている

対策:ニュースに出てくる「言葉」の頻度に注意すること

これまでの動きとの違いを感じたら,まずポジションを落とす

## 「アウトライト」が難しい理由(2)

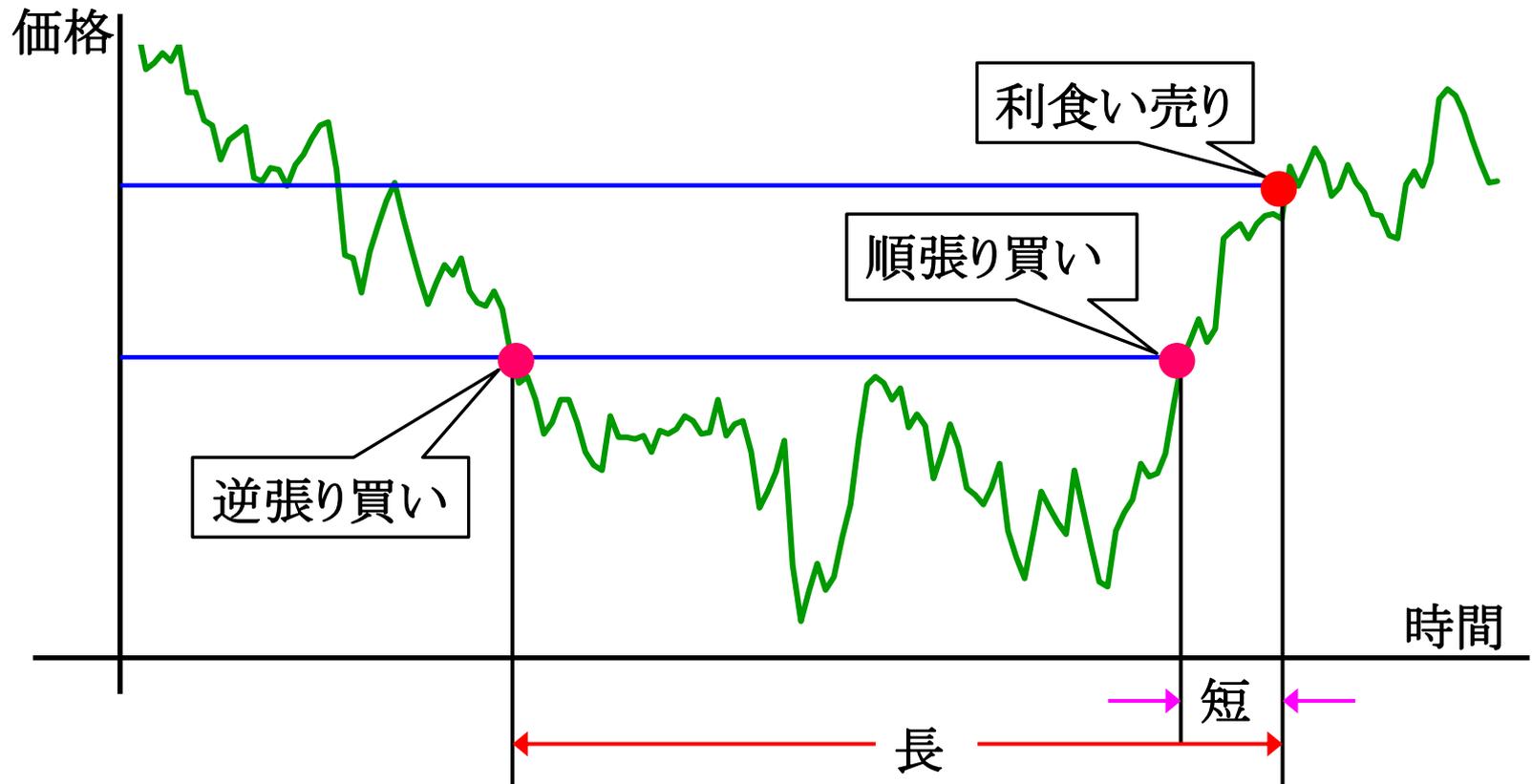
答:局所的には自身の「記憶」に縛られるから

以前に利食った値段を忘れることができず, その値段にこだわる  
過去の高値・安値を気にする, など

すべて「過去の情報」であり, 過去から未来がわかるわけではないと考えると  
もっと「自由」になり判断も楽になる

対策:「相場では, 過去は何も教えてくれない」と自分に言い聞かせる  
素直に「負け」を認める

# 「アウトライト」は順張りが基本



同じ利幅でも「利食い」までの時間が逆張りの方が長い  
→ 逆張りはリスクを取っている時間が長く、その間は不愉快

# さらなる勉強のために

大阪取引所から公開されているサイト

『OSE先物・オプション シミュレーター』

( <https://www.fopstudy.com/> )

- (1) 無料で先物・オプション取引を体験
- (2) ゲーム感覚で楽しく学習
- (3) 本格的な取引画面
- (4) 解説動画付きで分かりやすい

# 講師プロフィール

## 伊藤祐輔（いとうゆうすけ）

株式会社シンプレクス・インスティテュート 代表取締役

1976年早稲田大学理工学部数学科卒業，1983年同大学大学院理工学研究科後期課程修了。偏微分方程式論の研究活動のかたわら数学教育を続け，1989年ソロモン・ブラザーズ・アジア証券(現シティグループ証券)に入社。株式部長，株式デリバティブトレーダーとして10年間マーケットにかかわる。1999年インドスエズ・ダブリュ・アイ・カー証券(現カリヨン証券)に移りトレーディングデスクの再構築を行い2000年(株)シンプレクス・インスティテュート代表取締役就任。

---

### 免責事項

当資料の内容は、投資判断の参考として投資一般に関する情報提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終的な決定は、ご自身の判断と責任においてなさるようお願い致します。株式会社シンプレクス・インスティテュートでは、当該情報に基づいて被ったいかなる損害についても、一切の責任を負うものではありません。

## 無断転載を禁ず

当資料の全部、または一部を無断で複写・複製・転載、および磁気・高記録媒体に入力することなどは、著作権法上の例外を除き禁じられています。

株式会社シンプレクス・インスティテュート

〒105-6223 東京都港区愛宕2-5-1

愛宕グリーンヒルズMORIタワー23階

URL: <http://www.simplexinst.com>

E-mail: [info@simplexinst.com](mailto:info@simplexinst.com)

## ご注意事項

- 本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客さまが損害を被ったとしても当社、および情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製、または販売等を行うことは固く禁じます。
- 必要証拠金額は当社証拠金(発注済の注文等を加味した証拠金×100%)－ネット・オプション価値(Net Option Value)の総額となります。
- 当社証拠金、およびネット・オプション価値(Net Option Value)の総額は発注・約定ごとに再計算されます。
- 証拠金に対する掛け目は、指数・有価証券価格の変動状況などを考慮のうえ、与信管理の観点から、当社の独自の判断により一律、またはお客さまごとに変更することがあります。
- 「HYPER先物コース」選択時の取引における建玉保有期限は原則新規建てしたセッションに限定されます。なお、各種設定においてセッション跨ぎ設定を「あり」とした場合には、プレクロージング開始時点の証拠金維持率(お客さま毎の証拠金掛目およびロスカット率設定に関わらず必要証拠金額は証拠金×100%で計算)が100%を上回っていれば、翌セッションに建玉を持ち越せます。「HYPER先物コース」選択時は必要証拠金額は証拠金×50%～90%の範囲で任意に設定が可能であり、また、自動的に決済を行う「ロスカット」機能が働く取引となります。
- 先物・オプションの証拠金については日本証券クリアリング機構のWEBサイトをご覧ください。
- 指数先物の価格は、対象とする指数の変動等により上下しますので、これにより損失を被ることがあります。市場価格が予想とは反対の方向に変化したときには、比較的短期間のうちに証拠金の大部分、またはそのすべてを失うこともあります。その損失は証拠金の額だけに限定されません。また、指数先物取引は、少額の証拠金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失を被る危険性を有しています。
- 日経平均VI先物取引は、一般的な先物取引のリスクに加え、以下のような日経平均VIの変動の特性上、日経平均VI先物取引の売方には特有のリスクが存在し、その損失は株価指数先物取引と比較して非常に大きくなる可能性があります。資産・経験が十分でないお客さまが日経平均VI先物取引を行う際には、売建てを避けてください。

## ご注意事項

- 日経平均VIは、相場の下落時に急上昇するという特徴があります。
- 日経平均VIは、急上昇した後に数値が一定のレンジ(20~30程度)に回帰するという特徴を持っています。  
日経平均VIは、短期間で急激に数値が変動するため、リアルタイムで価格情報を入手できない環境での取引は推奨されません。
- 指数オプションの価格は、対象とする指数の変動等により上下しますので、これにより損失を被ることがあります。なお、オプションを行使できる期間には制限がありますので留意が必要です。買方が期日までに権利行使又は転売を行わない場合には、権利は消滅します。この場合、買方は投資資金の全額を失うこととなります。売方は、市場価格が予想とは反対の方向に変化したときの損失が限定されていません。また、指数オプション取引は、市場価格が現実の指数に応じて変動しますので、その変動率は現実の指数に比べて大きくなる傾向があり、場合によっては大きな損失を被る危険性を有しています。
- 未成年口座のお客さまは先物・オプション取引口座の開設は受付いたしておりません。
- 「J-NETクロス取引」で取引所立会市場の最良気配と同値でマッチングする場合、本サービスをご利用いただくお客さまには金銭的利益は生じないものの、SBI証券は委託手数料を機関投資家から受け取ります。
- J-NETクロス取引の詳細は適宜修正される可能性がありますのでご注意ください。

## 金融商品取引法等に係る表示

本セミナーでは、セミナーでご紹介する商品等の勧誘を行うことがあります。これらの商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。商品毎に手数料等及びリスクは異なりますので、詳細につきましては、**SBI証券WEB**サイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。

### 金融商品取引法等に係る表示

[https://search.sbisec.co.jp/v2/popwin/info/home/pop6040\\_torihikihou.html](https://search.sbisec.co.jp/v2/popwin/info/home/pop6040_torihikihou.html)

商号等:株式会社**SBI証券** (金融商品取引業者、商品先物取引業者)

登録番号:関東財務局長(金商)第**44**号

加入協会:日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、一般社団法人 日本**STO**協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人日本暗号資産等取引業協会